

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 清心中学校・清心女子高等学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒701-0195
岡山県倉敷市二子1200
 E-mail : kurashiki@nd-seishin.ac.jp
 Website : http://www.nd-seishin.ac.jp
 児童生徒数：男子 0 名 女子 730 名 合計 730 名
 児童・生徒の年齢 13歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（男女共同参画）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① サンショウウオの飼育，デンジソウの繁殖など

生物教室でサンショウウオを飼育しながら，その産卵から成長していく様子を調べ，まとめた。また，絶滅危惧種のデンジソウの栽培を生物部が年間を通して行い，学会や高校生対象の発表会等で発表した。また，花酵母の研究から木質バイオマスからエタノールを作る試みを始めた。

1) 中国四国地区生物三学会合同大会（岡山大会）優秀プレゼンテーション賞
「受精卵から飼育したオオイタサンショウウオで、室内での産卵行動の観察に成功」

2) 平成 26 年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会 独立行政法人科学技術振興機構理事長賞

「デンジソウはいつ眠る？ ～就眠運動の詳細解析～」

3) 平成 26 年度日本水産学会秋季大会高校生ポスター発表 最優秀賞

「サンショウウオの飼育下の飼育方法の確立を目指して」

4) 中国四国地区生物三学会合同大会（岡山大会）優秀プレゼンテーション賞
「木質バイオマスを使用してエタノール生産できる野生酵母を求めて」

② 身近な水田・湖沼の自然観察（4月26日・9月27日）

中学3年生を対象に岡山県自然保護センターにて2回にわたって，動物・植物の観察を行った。センター職員の指導の下で動植物の種類や見分け方や特徴等を学び，自然環境の大切さを学んだ。事後の活動として，興味を持った動植物についてレポートにまとめた。

③ 森林の自然調査（8月4日～8月8日）

生命科学コースの高校1年生を対象に鳥取大学農学部附属の蒜山フィールドサイエンスセンターにて森林調査等を行った。鳥取大学農学部と連携して，蒜山地域の動植物の観察から，枝打ち体験や樹高や樹齢の測定，さら火入れ地域の植生の観察をした。大自然に入る抵抗感が緩和され，森林に親しみ，森林の果たす役割を認識できた。

④ 海洋の自然調査（9月30日～10月4日）

生命科学コースの高校2年生を対象に沖縄の琉球大学熱帯生物圏研究センター等で亜熱帯の動植物の観察や実習を行った。

⑤ 女子生徒による科学研究発表交流会を開催（10月25日）

京都大学にて，本校の生徒に加え，課題研究に取り組む全国の中学校・高等学校の女子生徒を集めて，科学研究発表交流会を行った。約200人の女子中高生が集まり，ポスター発表で交流を深めたほか，女性研究者の講演などロールモデルにも触れた。

⑥ 環境学習を中心とした中学での海外研修（7月6日～20日）

中学3年生がオーストラリア約2週間のホームステイを実施し、環境保護に積極的な市民の姿勢を知るとともに、日本では見ることのできない多雨林群を観察した。さらにアボリジニー文化など異文化理解が進んだ。この研修で学んだことを秋の文化祭で発表した。

⑦ 環境学習を中心とした高校での海外研修（3月22日～4月1日予定）

生命科学コースの高校1年生とその他の希望者がマレーシア国（ボルネオ島）サバ大学およびフセイン大学と連携して10泊11日の研修を行う。サバ大学では講義を受けると共に、蒜山の森林調査の結果を英語で発表する。大学生と環境問題を中心に英語で話し合う。日本とは全く植生の違う熱帯林の観察や調査を行い、女子高校生との交流も入れて、国際的な視点で環境問題を見る眼を養う。

⑧ 「女性」をテーマとした授業

高校2年生文理コースを対象に、「現代社会とジェンダー」等、女性に関わる問題をテーマに週2時間の授業を行った。テーマごとに姉妹校のノートルダム清心女子大学の講師が講義をした。文化祭では「赤ちゃんポスト」についてのディベートを公開した。授業を通して女性に対する諸問題に気づき、自分の問題として捉え、最終的には各自がテーマを絞ってプレゼンテーションをした。

⑨ 「社会と女性」をテーマとした海外研修（3月21日～4月5日予定）

アメリカ合衆国にある本校の姉妹校ノートルダム・サンノゼ高校への研修を行う。校内の「発展科目」で学習した「女性学」の課題研究を、英語で発表する。また、現地校の先進的な「女性エンパワーメント事業」に触れる。スタンフォード大学やFacebookなどを訪問する「キャリア教育」も行う。現地の日系アメリカ人のコミュニティーなどとの交流もあり、研修内容は多岐にわたる。

⑩ スカイプミーティング（オランダ Were DI School, OPEDUCA Project）

(1) 6月18日（水）16:00より高校1年生が1時間弱にわたって、学校制度の違いや遺伝子組み換え食品をテーマにして意見を交わした。

⑪ ESD アカデミア会議岡山主催「ESD 持続可能な町づくり・人づくり・社会づくり世界フォーラム」参加（7月26日）

学校紹介を英語・韓国語・日本語の3か国語で行い、ESDの取り組みを英語と日本語で報告した。また、生徒が英語で作成した俳句を発表した。

⑫ ESD世界大会・高校生フォーラムへ参加

平成26年11月に岡山市で開催される高校生フォーラム世界大会の開催に向けて、平成24年度より準備セミナーに参加している。生徒は、運営、議長団、記録係などで、それぞれが主体的に活動をすることができた。

- (1) 5月11日（日）岡山大学清水記念体育館
- (2) 6月15日（日）岡山大学清水記念体育館
- (3) 7月20日（日）大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
- (4) 8月11日（月）ホテルグランヴィア岡山

- (5) 10月 5日(日) 岡山市立岡山後楽館高等学校
- (6) 11月 4日(火) 世界大会・地域交流会(フィリピン共和国生徒来校)
- (7) 11月 5日(水) 世界大会・高校生フォーラム・オープニング
- (8) 11月 6日(木) 世界大会・高校生フォーラム(第1日)
- (9) 11月 7日(金) 世界大会・高校生フォーラム(第2日)
- (10) 11月 17日(月) 世界大会・教師教育視察団来校

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()